

消費者って
だれのこと？



めぞそう!

みんなで
楽しく学ぼう



か

し

こ

い

しょうひしゃ

消費者

あなたも私も消費者です

契約って
なに？



1時間目

『消費者』ってだれのこと？
私たち小学生も『消費者』？

お金を払って『もの』を買ったり、『サービス[※]』を利用したりしている人のことを『消費者』といいます。
私たち小学生も文房具やお菓子を買ったり、バスや電車に乗ったりしています。
だから、小学生も『消費者』です。大人も子供も関係なく、みんなが『消費者』です。

※サービス…形がある「もの」とちがい、「何かをしてもらう」こと(バスに乗って目的地に行く、インターネットを使う、電気を使うことなど)

1 お菓子を買う



2 バスに乗る



3 ファミレスで
食事する



4 スマホを使う



2時間目

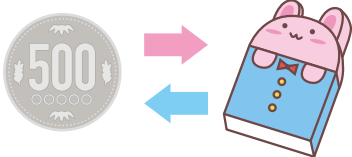
『お金』ってなんだろう？
私たちが使う『お金』はどこからくるの？

『お金』って？ 『お金』には暮らしを便利にする3つの役割があります。

お金の役割

その1

「もの」や「サービス」と
交換することができる



その2

ためておけば後で使える



必要なときに
使うことが
できる

その3

ものの価値を測ることができる



「値段」がわかれば
買い物するときに
便利だね

『お金』は
どこから？

生活のために使うお金(みんなのおこづかいも)は家の人働いて得ているものです。
好きなだけ使えるわけではありません。大切に、計画的に使いましょう。

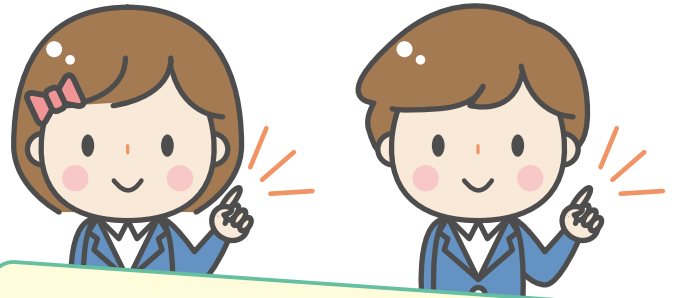
私たちの暮らしの中で使う『お金』には、お金の形をしていない『お金』があります。

電子マネー

(お金の価値を電子データに変えたもの)

例 Suica、PASMOなど

- カードにお金をチャージ(お金を電子データに変えること)するとチャージした金額分で電車に乗ったり、物を買ったりすることができます。チャージすることで繰り返し使えます。
- カードにはICチップが組み込まれていて、チャージしたお金と使ったお金の情報が記録されています。



プリペイドカード

例 図書カード、QUOカードなど

先に代金を支払って、カードを買い、カードに書いてある金額分の買い物ができます。カードに書いてある金額を使ったら終了になります。



クレジットカード

(大人が持てるカード)

買い物のときに、カードを使って、サインや暗証番号あんしょうばんごうを入力すると、クレジットカード会社かが立て替えて支払ってくれ、商品を買うことができます。後で自分の銀行に預けているお金からクレジットカード会社に支払います。



スマホのアプリで支払い

例 PayPay、d払い、auPAYなど

スマホに〇〇Payのアプリを登録し、買い物のときにバーコードやQRコードを読み取って支払います。

前もって銀行口座やクレジットカードを登録しておきます。



どれもお金と同じ価値があるものですが、カードで買い物をしても、お財布さいふからお札や硬貨こうかがなくならないので、お金を使った実感がありません。

メモしたり、レシートを残しておくなどいくら使ったかわかるようにしておきましょう。

『見えないお金』も現金と同じなので上手に使いましょう。

4時間目

買い物は『^{けいやく}契約』です。 『契約』ってなんだろう？

『契約』とは法律で守らなければならないと決められた約束のことです。

買い物は、買う人と売る人のお互いの意思が一致して結ぶ約束で、これも『契約』になります。

1時間目の「①お菓子を買う」から「④スマホを使う」もすべて契約になります。



『契約』が成立すると、買う人、売る人ともに守らなければならない責任が発生します。

「買う人」=「私たち消費者」は、ものやサービスを受け取る代わりに、「お金を支払わなければならない責任」があります。

5時間目

『契約』は勝手にはやめられない！

こんなときはどうなる？

昨日、A店で
かわいい青色の
ペンケースを買ったよ。



花子さん

今日、B店でピンクのペンケースを
見つけちゃった。
ピンクのほうが好きだから、
昨日買った青色のペンケースを
返したいなあ。



花さんはA店でお金を払いペンケースを買いました。これはA店と花さんの間で『契約』が成立しています。『契約』はどちらか一方の都合でやめることはできません。

A店がペンケースを返すことを受け入れてくれない限り、花さんはペンケースを返して、お金をもどしてもらうことはできません。

買い物=『契約』するときは、商品の大きさや機能、どんな種類があるか、売っているお店や値段などを調べて、よく考えてから買い物しましょう。

とくに高い金額のものを買うときは、家の人に相談しましょう。

昨日、マンガを買っちゃったから、欲しいゲームソフトを買うお金が足りなくなっちゃた。



よく考えずにものを買って、「失敗した」と思ったことはありませんか。
上手に買い物をするためにはどうすればいいのでしょうか。

① 本当に『必要なものか』を考えよう！

- 買う前に、それが本当に『必要なものか』を考える習慣をつけましょう。
- 買いたいものがたくさんあるときは、順番をつけると本当に欲しいものがわかりやすくなります。
- 限られたおこづかいを上手に使うには、時にはガマンすることも大切です。

② 商品を上手に選ぼう！

- 種類や値段、どこのお店で売っているのかなどを調べましょう。
- サイズや中身の量、使いやすさ、安全性、何で作られているか、作られている場所など、いくつかの商品を比べてみることも大切です。
- 商品についている『表示』や『マーク』にも注意してみましょう。



『マーク』の例

JISマーク



品質が一定の基準を満たしているものにつけられるマーク
(かん電池、ノートなど)

STマーク



おもちゃの安全基準を満たしているものにつけられるマーク

エコマーク



環境のことを考えて作られたものにつけられるマーク

グリーンマーク



古紙を40%以上使った製品につけられるマーク
(ティッシュやノートなどの紙製品)

③ 買った後もお金の管理はきちんと！

- おこづかい帳などで「いつ、何を、いくらで買ったか、残っているお金」などを記録しておきましょう。自分がどんな買い物をしたか一目でわかり、お金の管理がしやすくなります。
- 欲しいものがあるときはおこづかいの中から少しずつでも貯金して、お金をためてから買うようにしてみましょう。



お金の管理をしっかりして、計画的にお金を使えるようになると、大人になってからもとても役立ちます。

買い物などで困ったことがあった時は相談してください。

台東区消費生活センター ☎ 03-5246-1133

受付時間 月～金 午前9時～午後4時

受付場所 台東区役所9階7番窓口(くらしの相談課内)